



不知火がしたいわけでは
ありませんが。

成人向け

R18

成人向け

不知火もういいぞ
さあこっちに...

はい
アナタ

御覧ください
不知火のおまんこは
今か今かと
待ち望んでいます

さあ早く...
早くその熱い物で
掻き回して下さい...っ

いっしょに
ゆいばあ

こっちはさ
今挿入れこやる

あは

ああ
おちんぼ
挿入って...
き...

あ





…夢という物は
本当に
荒唐無稽と
いうか

不知火が
あのような事を
言うわけが
ないでしょう

恐らくは後学の為と
秋雲に借りた本が
原因でしょうね…



司令に初めて
抱いて頂いたのが
一ヶ月前…



……アナタという
呼び方はまあ
……

多少憧れないでも
ないですが…



結局身体が
慣れるまで同衾は
一週間に一度と言う
ことになって…



翌日は痛みで
歩くのにも
支障をきたして…

あの時は周りに
気取られない
ようするのが
大変でした

ついに
やったか…!!

良かった
良かった

おかしな夢を
見たせいで
目が冴えて
しまいました

…司令に心配を
お掛けしたのも
不知火の不徳の
致すところですが

何より司令が
お辛いはず

男性の性欲は
女性のそれより
制御が効きづら
いと聞きます

以前と違い今は
不知火がそれに
我慢を
強いている…

これでは部下としても
妻としても
失格なのでは
ないでしょうか…

んー…

さわ

さわ





お疲れ様です
司令

ふっ...



まあその...なんだ
椅子に座ってばかり
では鈍るからな

司令こそ
こんな時間まで
鍛錬ですか?

いえ目が覚めて
しまいました



宜しければ
こちらを
お使い下さい

不知火
まだ休んで
いなかったのか



はい
司令と肌を重ねて
いる夢でした

ん
そうか
どんな夢だった

先ほどまで
夢を見ていました

ん?
!!

ぽん。

夢の中の不知火は
甘い声を上げながら
司令に奉仕を
重ねておりました

卑猥な言葉を
連呼し司令の
興奮を煽り

自ら脚を開き
早く早くと
ねだって
おりました

…誘って
いるのか？
しし

内容を聞かれたので
答えただけです
他意はありませんが

遠回しに
責められて
いる気がする…

司令に非を求めて
などいません

ですが今
ふと疑問が
浮かびました

「おはようございます、
おはようございます、
おはようございます、
おはようございます」

は？

今のように運動で？
それとも司令も
自慰をなさるの
でしょうか

「こっくらなんて
事を聞くんだ…」

「ご安心下さい
別に嫉妬を覚えたり
責めるつもりなど
ありません」



初めて抱いて
頂いてから
もうひと月です

我慢なさる
必要など
ありません

不知火の身体は
いつでも司令を
お待ちしております

くっ...
グッ...



今生睡を
飲み込まれ
ましたね

まあ抱けるのなら
今すぐにも
抱きたいからな

だがあまり任務に
支障をきたすのは
提督としてな...

三度も経験すれば
いい加減慣れます

それでも翌日は
まだ少し
動きがきこちない
じゃないか

むっ...



…男性は……
司令は呼称の差異で
興奮の度合いが
変化するのでしょいか

?!
どういう意味だ?

例えばこの
ペニス…を…

……お……

おちんぼ…と
お呼びするとか…

おちんぼ

おちんぼ

おちんぼ

…ふむ…確かに
普段より大きく固く
なった気がします

どっどいで
そういう言葉を
覚えてくるんだ…

妹に借りた
本などで少々…

…じ…事実
でしたようなので
改めて今日は
このまま…



おちんぼを
しゃぶらせて
頂きます…っ



こういければ
後学のために
おひえへ頂きたいの
れふが…

呼び名の差異は
それほど重要な
ものなのれふか？



でしたら
光栄…です…っ



あ…ああ…
不知火だから
興奮するんだ

それは
褒め言葉と
受け取っへも？



お前の口から
そのような言葉が
出てくる事が…
だな…

ろうぞ
お好きな
とひに

スマン不知火
出すぞ……っ







この期に及んで
我慢を強いるなど
妻として失格



…私はダメな
提督だな…
抑えが効かん…

いえ
問題ありません



夫としても
同様かと

…存じます

ですからどうか
お好きにだけ…
求めて下さい…



心…得た…っ

挿っ…た…
司令のベニス…
ああ…でも…

は…

は…

動きが
優しすぎます…
またこの人は
過剰に…気遣って…っ

ぬ…

ぬ…

なるなる

なる

なる

不知火は別に…
構いません…が…
これでは司令は
物足りないはず…

不知火はなにか…
して欲しい事とかは…
あるか…っ？

…っそうです
学んだはず…
こういう時は行動で
示したほうがよい…

それでは
ひ…っただけ…っ
我が儘を…
…その…っどうか

ぬ…



淫らな女と思わないで下さい...っ

おっ!!
まじっ!!



動きに物足りなさを感じてなどいませんから...っ



しっ不知火っいきなり動きが激しすぎるぞっ

お誘いしたのは不知火ですから...っ

不知火が動いて差し上げるのが筋と...ただそれだけです...っ



不知火今私達は...何をしている?

性交...ですが...あ



おちんぼが
ぶつかって...っ
ぶちゅぶちゅと音...っ
立っています...っ

オチンボ

オチンボ

不知火の膺内...をっ
擦りあげて...
不知火は...
不知火は...っ

オチンボ

オチンボ



気持ち...
いいか??

は...いっ
不知火は...っ
気持ちよく
なっています...っ

どこが...っ
気持ち
いいんだ...??

オチンボ

オチンボ

これ...以上は...っ
羞恥心の限界...で...っ

聞かせてくれ
不知火...っ

もくひ...けん
を行使...っ

オチンボ

オチンボ

オチンボ



……すまん……
少々調子に
乗りすぎた……

い……え……
元々……不知火が
言い出した事……
ですから……



正直……非常に
興奮した

不知火は……
この上なく
恥ずかしかった……
です……

……司令
後もう一つだけ
使ってみたい言葉が
あるのですが

ん……なんだ？



あなた……と
お呼びしても……
宜しいでしょうか……



……
たまに……で
いいので……

今のような
二人きりの夜だけで……
いいので……





ハイスイノ陣

発行日……2015・8・16

描いた人……鳴湖 (@haisui)

印刷……メガネインサツ 様

MAIL……bwf@topaz.plala.or.jp

HP……<http://bwf.sakura.ne.jp>